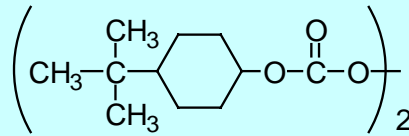


パーロイル<sup>®</sup> TCP (PEROYL<sup>®</sup> TCP)  
 ~ Bis(4-tert-butylcyclohexyl) peroxydicarbonate ~



分子式：C<sub>22</sub>H<sub>38</sub>O<sub>6</sub>，分子量：398.55，理論活性酸素量：4.01%

**特徴** パーロイルTCPは、低温活性な粉体パーオキサイドで、取扱い性に優れます。特に注型タイプの人造大理石用硬化剤として有用で、パーキュアーO、HO(N)あるいはパーオクター70(S)などの中温活性な硬化剤と組み合わせることによって、優れた物性を有する成形品が短時間に得られます。

<b>品質</b>	パーロイルTCP
純度	90%以上(工業純品)
外観	白色顆粒状

<b>保管温度</b>	保管温度	20℃以下
-------------	------	-------

<b>包装形態</b>	包装形態	10kg(5kg×2)
-------------	------	-------------

<b>一般的性状</b>	嵩比重	0.45~0.48
--------------	-----	-----------

<b>半減期及び活性化エネルギー</b>	1分間半減期温度	1時間半減期温度	10時間半減期温度	活性化エネルギー	頻度因子
	92.1℃	57.5℃	40.8℃	118.8kJ/mol	4.13×10 <sup>18</sup> hr <sup>-1</sup>

(ベンゼン中における熱分解：過酸化濃度：0.05mol/L)

<b>安全性</b>	圧力容器試験 (消防式)	1mmオリフィス	6/10
		9mmオリフィス	0/10
	熱分析(DSC)	発熱開始温度	90℃
		発熱量	770J/g
	引火点	57~58℃(測定法不明)	
	発火点(ASTM E659)	未測定	
SADT	(文献値：45℃)		
摩擦感度試験	>350N		

<b>適用法令</b>	消防法	第5類第2種自己反応性物質(指定数量：100kg)
	労働安全衛生法	危険物
		通知対象物を含有せず
	PRT法	第1種並びに第2種指定化学物質を含有せず
	船舶安全法	酸化性物質類 有機過酸化物
航空法	有機過酸化物(航空輸送が禁止されている危険物)	

<b>その他の分類</b>	国連分類	クラス 5.2，国連番号 3114
	CAS-No.	15520-11-3
	官報公示整理番号	(3)-2297(化審法，安衛法)
	TSCA	登録有り
	EINECS	239-557-1
	ポリ衛協：ポジティブリスト	登録あり(PE・PMMA・AS・MS)

**記載内容の取扱い**

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成していますが、記載のデータや評価、危険性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

お問い合わせは、[peroxide@nof.co.jp](mailto:peroxide@nof.co.jp) までお願いします。